



四條畷市議会議員

ながはた

長畑ひろのり News

発行：2007.11.01

vol.005

e-mail : sky@nagahata.jp url : http://nagahata.jp
blog : http://nagahata.cocolog-nifty.com

phone : 072-878-3205
fax : 072-877-1194

こんにちは、市政報告です！

皆さん、こんにちは。今年の5月1日に市議会議員となり早いもので半年が過ぎました。今号は先月行った行政視察と観光協会について主に報告させていただきます。まだまだ驚くことの多い議員生活ですが、今後とも宜しくお願い致します。

行政視察について！

10月18, 19日、常任委員会で行政視察に行きました。常任委員会は議会の中に「総務建水消防常任委員会」と「教育環境福祉常任委員会」の二つあり、議員はどちらかに必ず所属します。私は教育環境福祉常任委員会に所属しており、その委員会で今回は視察に行きました。

行き先は東京都で、18日が豊島区の高南小学校。そして19日が八王子市の高尾山学園です。両校とも公立です。

◎ 東京都豊島区高南小学校 視察報告

平成19年度、文部科学省と厚生労働省が連携し、小学校区で放課後の子どもの安全で健やかな活動場所を確保する為に、各市町村において教育委員会主導の「子どもプラン」の事業計画案を策定するように指導されています。

しかし、今まで有料で行われてきた厚生労働省主導の「放課後児童クラブ（四條畷市においては、ふれあい教室）」と、無料で行われてきた文部科学省主導「放課後子ども教室」との連携方策が四條畷市も含め全国的に問題となっています。

そこで、全国のモデル校の一つ高南小学校へ行きました。簡単に説明させていただきますが、根本的に右上図のように、四條畷市と組織は似ていますが内容は違います。高南小は福祉部局が主となって子どもスキップ事業を行っており、責任も福祉部局が全て取る事になっています。四條畷市は責任の所在も未定で今後の検討課題ですし、機能するまでには縦割り行政の弊害

が出ておりいま一度、組織形態から考え直さなければなりません。



高南小学校

学童クラブ
(有料)
福祉部局

放課後子ども
教室 (無料)
学校教育部局

子どもスキップ 福祉部局

四條畷市の各小学校

ふれあい教室
(有料)
子ども福祉課

放課後子ども
教室 (無料)
社会教育課

また、子どもスキップの活動も見せて頂き、四條畷市同様、少ない予算ながら職員の意識の高さがうかがえ、モデル校に選ばれるのが理解できました。

◎ 東京都八王子市高尾山学園 視察報告

この学校は公立の不登校児童・生徒のみを対象とした小中一貫校です。四條畷市と八王子市との財政規模等の違いはありますが（四條畷市の予算&人口に対して共に約10倍）取り組み姿勢は大いに参考になりました。

学校の創立された経緯ですが、不登校の割合が東京都の平均や全国の平均を越



えた事を八王子市長が問題視し、市長の強い意向でこの学校が作られました。出来るまでには多くの問題もあったそうですが、校舎は廃校になっていた所を使用し、授業時数の問題等は、平成15年4月に教育特区の申請を出し、第一号認可となった事で、大きく前進したそうです。この学校以外にも八王子市は多くの不登校に対しての活動を行っています。

たとえば、文部科学省にメンタルサポーターの効果を訴え提案し、今年までですが年間に1,350万円の予算が国から付き、中学校にしか配置できなかったメンタルサポーターを市内にある70校全ての小学校へ配置したそうです。

上の写真は高尾山学園のプレイルームで、卓球台・楽器・ビリヤード台・書籍・パソコン等があります。ここは学校へ来るまでの橋渡しとなる場所だそうです。また、全ての教室の後方にはジグソーパズルが置いてあり、授業についていけなくなったらジグソーパズルをしても良いそうです。

東京への行政視察を終えて感じたことは、やる気のある職員のリーダーシップです。やる気のある職員が現場で一生懸命に動くだけではありませんでした。縦割り行政の中であきらめるのではなく、横へも連携を広げていくだけのパワーがあり、また、上に立つ方がそれを認めているのです。

実は、このような事は小さな市の方がやりやすいのです。財政の厳しい四條畷市ですが、軽快に動ける規模というものを自覚し、大きな市よりもっと早く、もっと先を見つめて動かなければならないのです。

三重県紀北町について！

10月13, 14日を使って、四條畷市内で活動する有志の方と紀北町へ行ってきました。紀北町は平成17年10月11日、旧紀伊長島町と旧海山町が合併して誕生した町で、四條畷市の友好都市であり、世界遺産の熊野古道もあります。



今回の旅も峠越えの厳しい道でしたが、海山熊野古道の会会長の案内で、楽しく熊野古道を歩いてきました。

非公式で行ったのですが、紀北町の方々の観光に対する熱い思いには驚かされました。観光行政と言うものは、どこが主導で進めるにも、まずは地元の方の高い意識が重要だと思いました。

写真は、紀北町の民話でありながら実在した「種蒔き権兵衛」扮する方が、我々を新しく作った木船で舟渡しをして頂いている様子で、それが地方新聞数社に掲載されたものです。

「観光協会設立」の問題について！

10月2日に「四條畷市観光協会」設立記念式典が開催されました。この会の設立について書かせて頂きます。

私が議員になる前の事も含め知り得る範囲ですが、右側に時系列で経緯も書かせて頂きますのでご参照下さい。

問題は大きく分けて2点あるのではと思います。

公募した市民や市商工会などがメンバーとなって行った、2度の意見交換会（7月12日・8月14日）を発展させ、四條畷市主導の下、民との協働で観光協会設立へ向けて進める予定だったにも関わらず、何ら説明がないまま市も協力し急に別の観光協会が立ち上がった、これがまず1点です。

もう1点は、官と民との線引きが出来ていない事です。民主導で新しく出来た観光協会設立時の会則には、事務所所在地が四條畷市役所の住所となっていますし、名称に四條畷市も使われています（10月2日時点です）。

情報公開・市民との協働はどこへ？

どこの市でも観光協会と言うのは市の顔であり、重要な役割を担う団体です。民主導だから問題と言う事はないですし、また、民主導で行って頂けるのは行政として大変有難いことです。しかし、今回はすでに公に行政が主導で、尚且つ市民との協働で観光協会を立ち上げようと進めていた所でしたので、もう少し違った展開にできなかったのが、残念でなりません。行政として10月2日に設立された観光協会を単に全面協力するのではなく、観光協会設立へ向けて今まで行ってきた件などを、話し合いの中で指導もしくは助言など出来なかったのでしょうか。

↓全て2007年です

- 3月27日 3月議会にて扇谷議員（現在、同じ会派）が四條畷市の観光行政を強力に推進する仕掛けとして関係諸団体の協力を呼びかけ、観光協会の組織化と立ち上げを行政に要望。それに対し、当時の市民生活部長が、市民協働等を視野に入れ、商工会をはじめ関係団体と連携を図り、検討していくと答弁。
- 6月15日 6月の広報誌にて市の産業労働観光課が、公に市民に観光振興まちづくりの意見を募集。
- 7月12日 上記の観光振興の第1回意見交換会を行う。
- 8月14日 同じく観光振興の第2回意見交換会を行う。
- 8月30日 上記の意見交換会に参加したメンバーから、突如として今までの流れと関係のない「四條畷市観光協会設立準備検討委員会」が立上げられた。側面的な支援として市の産業労働観光課が窓口となる。
- 9月 中頃 突然、四條畷市観光協会設立記念式典の案内状が各種団体や議員に封書で送られ、設立の件が明らかになる。
- 9月25日 9月議会にて扇谷議員がこの件に激しく追及。それに対し、民主導が進められていると答弁。
- 10月 2日 四條畷市観光協会設立記念式典が行われる。
- 10月 前半 各会派（全てではない）が、市の産業労働観光課の担当者から経緯の説明を聞く。

「市政報告会」について！

市議会議員を続ける以上、市政を市民へ伝えるべく選挙公約どおり毎回議会が終わってからですが、私の市政報告会を開催しております。その市政報告会の次の日程が下記のように決まりました。多くの方のご参加をお待ちしております。

長畑ひろのり市政報告会（所要時間90分を予定）
 日時：2007年11月29日（木）pm19:30～
 場所：市民総合センター 会議室4